

承認番号	4202
研究課題名	心臓CTを用いた冠動脈と僧帽弁輪の解剖学的位置関係の解析
研究の意義・目的	心臓手術において、解剖学的形態の把握は重要である。近年CTを用いた解析が進歩し、経カテーテル大動脈弁置換術などにおいて安全性の確立に寄与している。一方心臓手術における活用は十分には行われていない。心臓CTの解析を行うことで冠動脈と僧帽弁輪の解剖学的位置関係を描出し、手術リスクを検討する。当院において心臓手術前後その他の診断目的で心臓CTを撮影した患者を対象とし、ワークステーションを用いて冠動脈と僧帽弁輪の解剖学的位置関係を解析する。また、僧帽弁手術前、経カテーテル大動脈弁置換術術前、あるいは弁膜症を合併しない症例における解剖学的特徴を比較検討する。手術リスクのより正確な評価や、安全な手術手技の確立を目指す。
研究期間	承認後～2022年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	当院で行われた僧帽弁術前患者の心臓C T(～2018年12月31日)、経カテーテル大動脈弁置換術術前C T(～2018年12月31日)、弁膜症のない冠動脈C T(2018年12月31日)を対象に行う。
利用又は提供する試料・情報の項目	検査データ、診療記録等
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	研究責任者 施設名：大阪公立大学大学院医学研究科 補職名：心臓血管外科学 教授 柴田利彦
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ocum-surgery/index.html
研究成果を公表する方法	研究対象者を特定できないようにしたうえで ①学会発表や論文 ②本教室のホームページ(http://www.med.osaka-cu.ac.jp/ocum-surgery/index.html)で公表する
試料・情報の提供方法	提供しない
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	心臓血管外科学 教授 柴田 利彦
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	〒545-0051 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学・電話：06-6645-3980、FAX:06-6646-3071 担当者名：心臓血管外科 教授 柴田利彦